

業務用Bluetooth送信・受信システム

AuraBroadcaster™シリーズ

(オーラブロードキャスター)

新製品発表会

開催日時: 2025年7月15日(火)

開催場所: ヒビノ日の出ビル 9F 会議室

ヒビノマーケティング Div. 新規事業推進室



- 商品開発背景
- Auracast™とは
- 特長・仕様
- ユースケース
- 質疑応答
- 実機デモ



ヒビノ株式会社・中期経営計画「ビジョン2025」において、既存事業の周辺領域および新領域での新規事業創出を立ち上げ・拡大するため、当事業部では2024年より新規ものづくり活動を開始しました

この第一弾として、Auracast™ブロードキャストオーディオを利用した製品を発売いたします

今後も新しい製品やサービスを継続して提供していく予定です

Auracast™ブロードキャストオーディオはBluetoothの新機能で、対応送信機器から複数の受信機に向けて同時にオーディオ信号を配信/共有できる機能です

次世代の Bluetooth® オーディオ



6 | © 2024 Bluetooth SIG, Inc. Proprietary | 30 September 2024

Bluetooth SIGにAuracast™モデルとして登録されているものは7/14時点で113モデル。日本メーカーとしてはCear様、NTTソノリティ様、パナソニック様、ソニー様などが登録されています (<https://www.bluetooth.com/auracast/find-a-product/>)

Auracast™の利用が想定される施設と導入時期(見込み)

THE SOUND AND VISUAL SPECIALIST



エンタテインメント施設



オフィス



カンファレンス・ホール



礼拝施設



スポーツジム



スタジアム



医療
病院
介護施設



教育機関



レストラン
スポーツバー



公共施設
鉄道



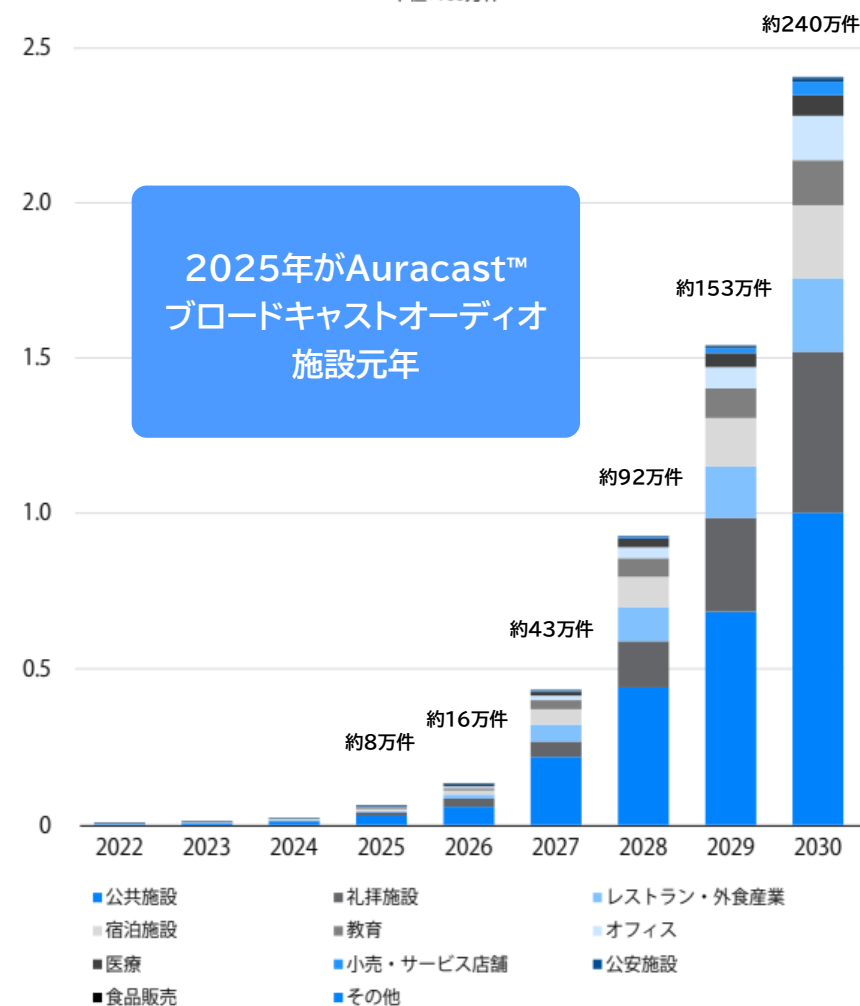
公共施設
美術館



公共施設
空港

図5: Bluetooth Auracast™の配備件数(施設の種別別)

単位:100万件



出典: ABI Research

使用例 とAuracastによるユーザーメリット



放送局スタジオ

スタジオ内やロケ・取材現場でスタッフが音声の確認やディレクターの指示を聞くことができます。

Auracastにより、システムを安価に構成でき、より多くの人が音声を確認できます。また海外取材時の免許申請負担も減少することが期待できます



博物館・美術館
工場見学

周りが静かでなくても解説を確実に届けることができます。録音された解説でもライブの解説でも利用できます



国際カンファレンス
教育
エンターテインメント解説

翻訳言語をユーザーの機器で聞くことができます。面倒なレンタル機材のメンテナンスの手間や費用を削減します
会場や教室のどこに座っても、同一の品質の音声を届けることができ、理解度が深まります

また補聴器などへの連携も取りやすくなります



スポーツバー
スポーツジム
病院待合室

複数のプログラムが混在する場合や病院など静かな空間で、音を出すこと自体が難しいことがありましたが、Auracastを利用するとユーザーは自身の聞きたい音声チャンネルを選択して聞くことが可能になります。



ツアーガイド

ポータブル送信機により、移動しながら確実にガイドを聞くことができます。またオープンイヤータイプのレシーバ(骨伝導など)を利用いただくと、周りの音を遮断することなく安全です

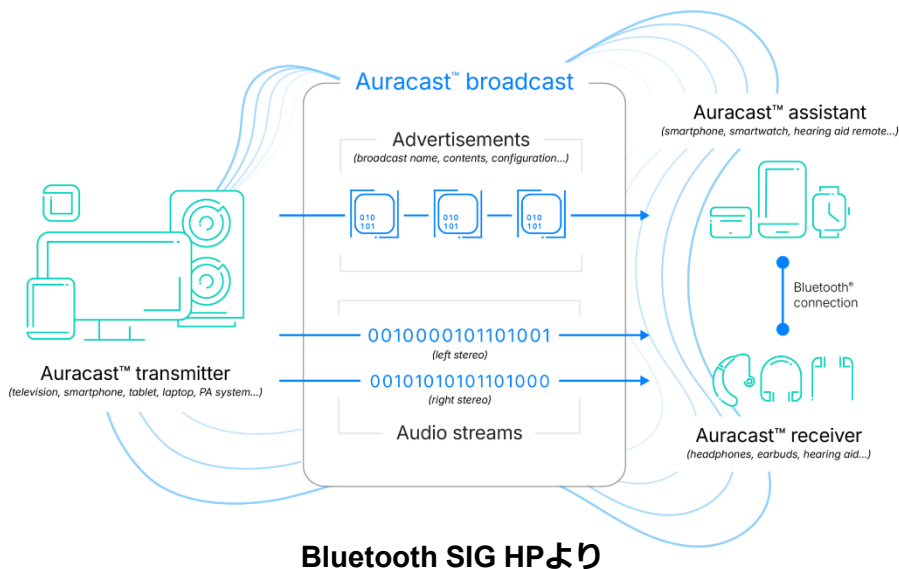


デジタルサイネージ
サイレントシアター

これまで音がなかった広告に音声という付加価値をつけることができるようになります。
また遮音などの設備が十分でない施設においてもライブイベントや映画上映ができるようになります

Auracast™ブロードキャストオーディオの特長

- 1.一つの送信機に対して、レシーバーの数は無制限
- 2.データの流は片方向通信であり、接続距離が延ばせる
- 3.低遅延が実現でき、ライブアプリケーションにも利用可能
- 4.オープン規格であるAuracast™対応機器が拡大することで、BYOD環境も拡大する（ユーザーのデバイスで参加できる）
- 5.音声品質はこれまでのSBCと同等のレベルが約半分のビットレートで実現可能。



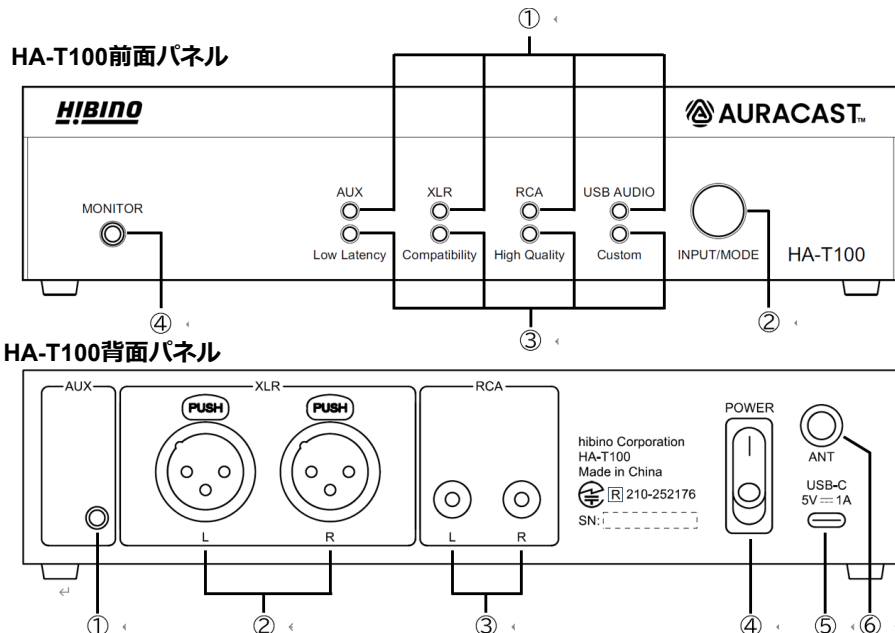
項目	内容
フレーム	10ms or 7.5ms (44.1kHzは誤差あり)
サンプリングレート	8kHz – 48kHz
ビット長	16,24,32 bit 当社モデルは16
チャンネル数	エンコードはチャンネル毎 当社モデルはL/R (2ch)
ビットレート	2chで約50kbps-250kbps

LC3 Spec

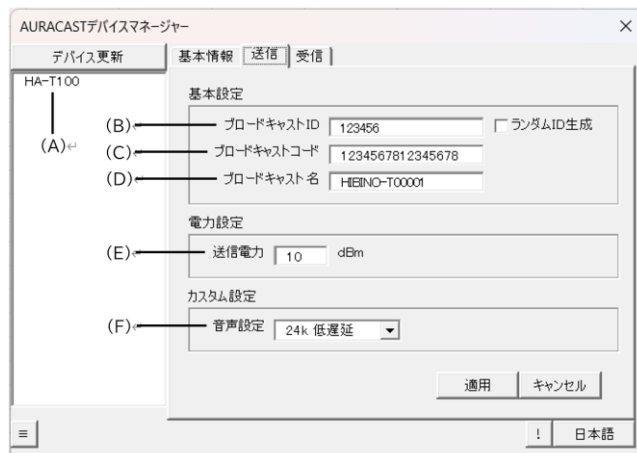
当社商品の特長 HA-T100

HIBINO

THE SOUND AND VISUAL SPECIALIST



設定ソフト(Windows)



・デスクトップ送信機(HA-T100)

入力として、AUX/XLR/RCA/USBから前面パネルボタンで選択ができます

送信モードを低遅延/互換/高品質/カスタムから前面パネルボタンで選択ができます

外付けアンテナにより、安定した伝送が可能です。出力は電波法の限界である+10dBm(10mW)を最大として、可変できます(伝搬方向はアンテナ軸から水平方向360度です)

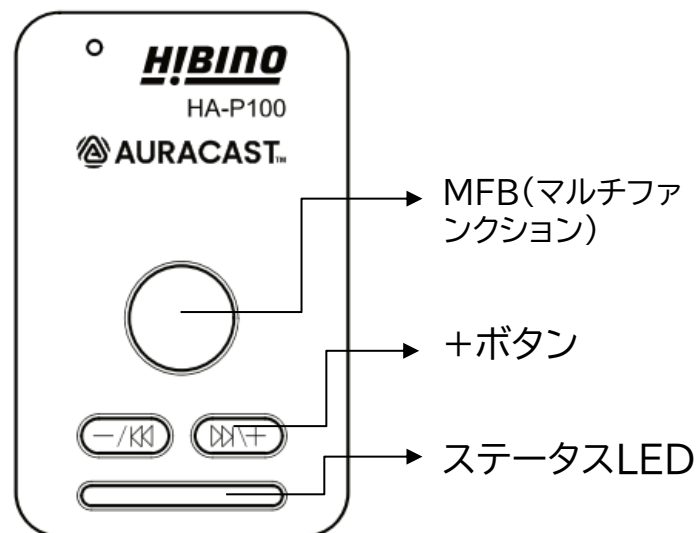
設定アプリケーション(各モデルに共通)

Windowsソフトウェアで送信機の名前や暗号コード(送受信とも)を設定できます

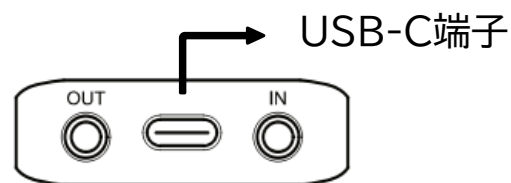
他社のレシーバでもこの送信機名を参照し、暗号を解除でき、音声が発音できます(すべての他社機で再生できるとはかぎりません)



JBLイヤホンで送信機を選択としている図



[Front View]



[Bottom View]

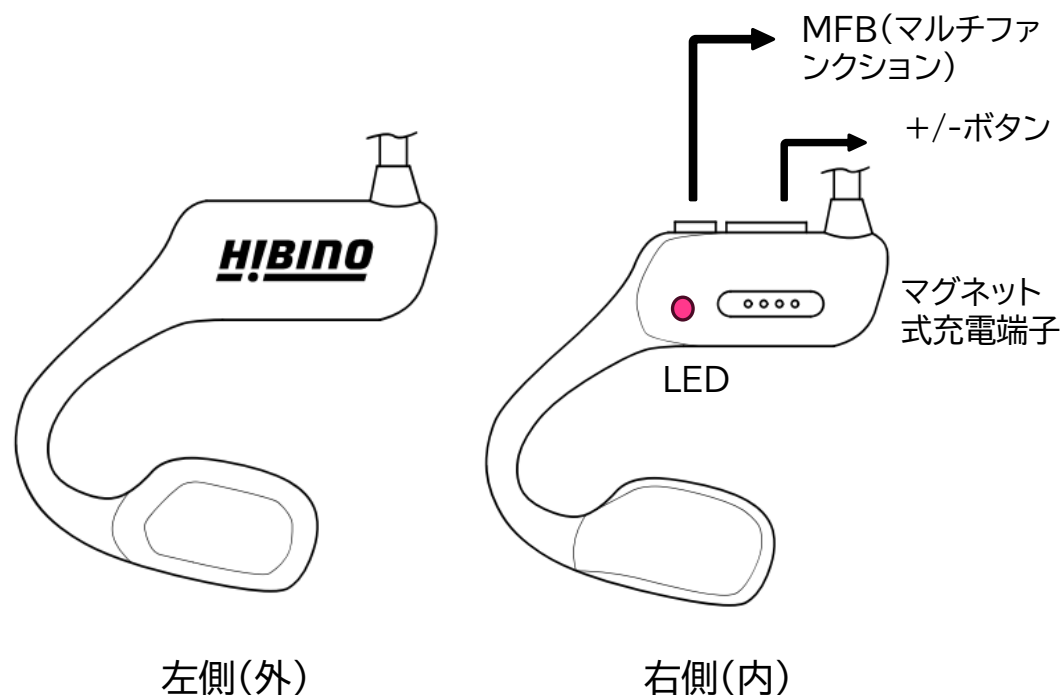
HA-P100(ポータブル送受信機)

・IN端子に接続されていると送信機、OUT端子に接続されていると受信機として起動します(USB-Audioソースに接続されていた場合も送信機となります)

受信時は青点滅・送信時は赤点滅

- ・+/-ボタンを短く押すとボリューム操作
- ・+/-ボタンを1秒程度長押しすると、選局動作(高速青点滅)
- ・USB-C端子はバッテリー充電・USBオーディオ入力兼用
- ・Audio IN/OUTはいずれもステレオ3.5mm
- ・電波が届かなくなった場合、音が途切れます。電波が届くようになると自動で復活します。またはマニュアルでリスキャンすることで、電波が届く範囲の送信機を探すこともできます

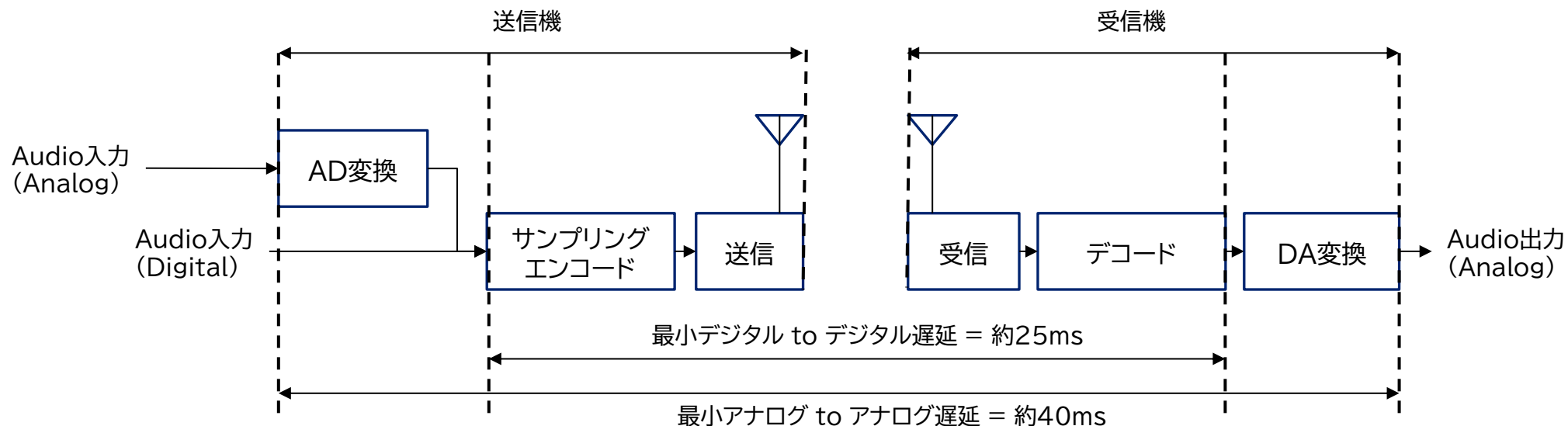




骨伝導レシーバーの内側を耳のトラガス(内耳軟骨部)に当てて使用します

- ・MFB長押し(電源ON/OFF)
- ・+/-ボタン(短く押すとボリューム、1秒程度長押しで選局)
- ・LEDが青のゆっくり点滅で受信中、青の高速点滅でサーチ中
- ・MFBダブルクリックで停止、再度ダブルクリックでリスキャン後自動選局
- ・専用のUSBケーブル(付属)にて充電します。充電中はLEDが赤、充電終了でLEDが青点灯します

当社モデルの特長 遅延設定について



Auracast送信機の遅延に関する設定値(代表的なもの)

- ・フレームサイズ
- ・サンプリングレート
- ・再送回数
- ・プレゼンテーションディレイ

上記設定により40ms程度から200ms程度までの遅延と品質を規定可能

AuraBroadcaster

(オーラブロードキャスター)

Bluetoothの新規格である「 AURACAST」と
多くの人に音を届ける「Broadcast」を
組みあわせたシリーズ名称を考えました(商標登録中)

2025年9月の発売を目指しています
早期に受注活動を開始いたします

価格についてはオープンプライスです
詳細につきましては、正式発表後に販売店・担当営業へ
お問い合わせください

- 1.マイクとミキサーを利用したライブプレゼンデモ:
国際会議や授業想定
- 2.複数のコンテンツを選択いただけるデモ:
スポーツバー、待合室などでのレシーバーによるソース切り替え
- 3.ツアーガイドを想定した簡易デモ
iPhoneのマイク入力をHA-P100でAuracast送信

